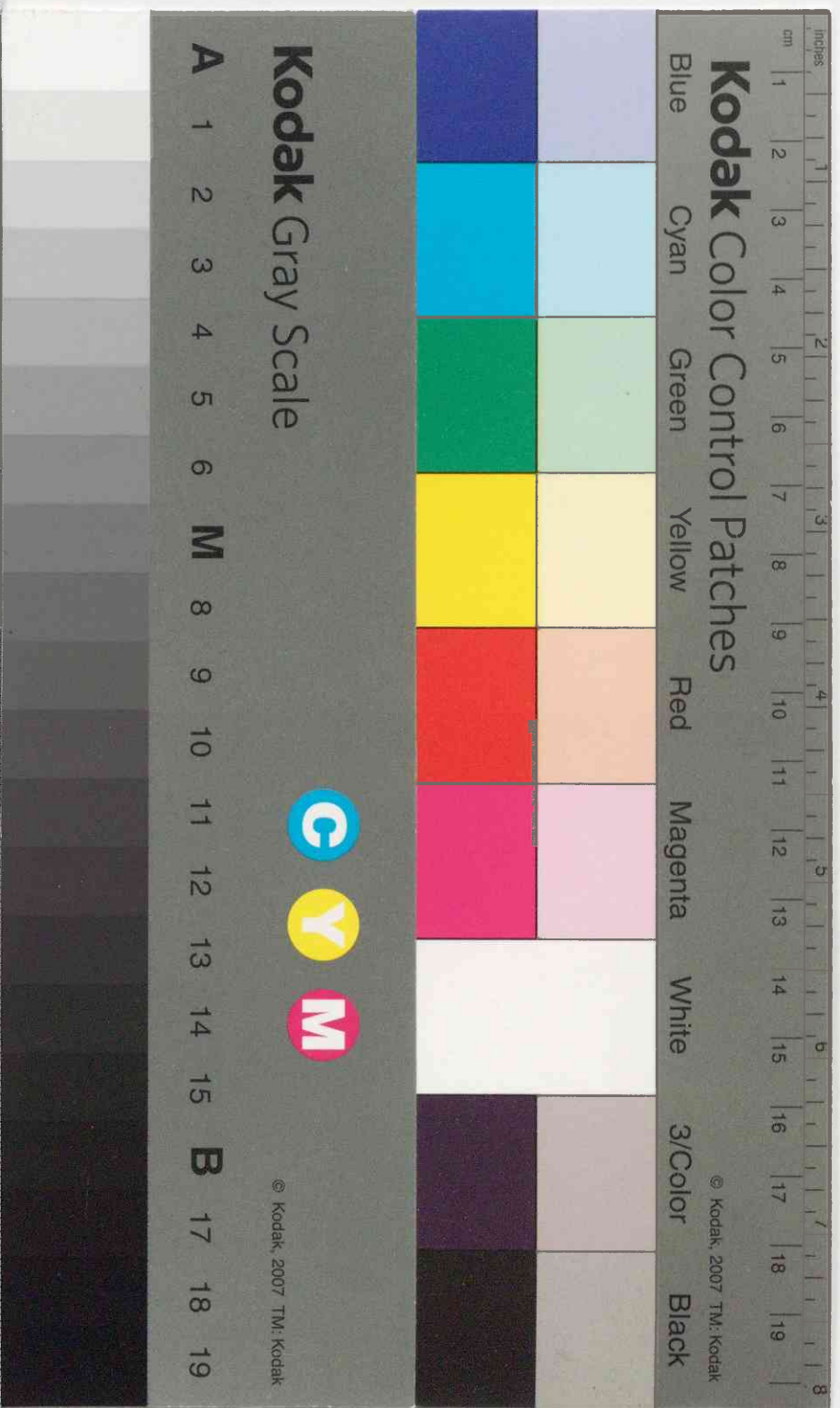




曲亭馬琴著

第四編

八犬傳

東京名山閣版

八犬傳第四集叙

同

狗之守夜也性矣敬主職主也亦性矣諺
曰。臥狗吠堯。此非其狗之罪。臣子之於亂
朝。善守其職而無私者。亦當如是。何者。殷
王賢不忠於西伯。然則不敢罪之。故孔氏
曰。君雖不君。臣不可以不臣。父雖不父。子
不可以不父。蓋此干箕子等之謂歟。由是

觀之其性所捷雖狗無以異人也。嗚乎與
夫食君之祿而令父母愁。夫妻相虐。兄弟
為讐。違舊迎新。捨名走利者。大有選
庭。宜國有賢相。則無姦佞之賓。家有良狗。
則無窺竊之客。於是四鄰可不勉而衛比。
屋可高枕而睡也。是余之為八犬傳。所以
寤蒙昧。抑取義於茲。其書若干卷。既刊布
于世。頃又繼編。至於第四集。刊刻之際。書
肆山青堂屢來而徵序。甚急。每編有自序。
今不可辭。因附增數行。以塞禮云。

文政三年庚辰冬十月端四。書于著作堂
西廂山茶花開處。

飯台 曲亭蟬史



卷

第三十一回

水閣扁舟資西雄
江村釣翁認雙狗

壹

第三十二回

陰抄樺少年得號
試角觥修驗解爭

卷

第三十三回

小丈吾夜喪麻衣
現八郎遠求良藥

貳

第三十四回

栗崎房八齋宿恨
藁塚犬田緩窮難

卷

第三十五回

念玉戲借笛
妙真哀返娘

三

第三十六回

破忍犬田與山林戰
含怨沿葡傷害四大

卷

第三十七回

病客辭藥延齡
俠者殺身得仁

四

第三十八回

戌戶外一犬拉間者
返徵書四彦辭來使

卷

第三十九回

浮葉壯士送兩友
起雲霧神靈奪小兒

五

第四十回

誣額藏奸黨逞殘毒
射羣小豪傑開法場

八犬傳第四輯目錄畢第二十回上目錄見前集卷端

身體

有痣

玉面

無疵

英奇

蓋世

功名

六隨

守忍菴頭

大田小次郎

板板均太

塩濱 鹹四郎

牛根孟六

修驗道觀得

尚義推親
遠刻恩親
舊怨所解
殺身為仁
鷺齊老人

山本房八郎

南無阿彌陀佛



節婦如昨
其子捷親

信天翁
四言

沼

大八



蕭鳴湖湘
惟負是烈
哀而不傷

芳流舍
雙韻

戸山妙真

大先達念王

命惟雖
神靈自
扶
琴指琴圖



古那屋又五兵衛

魚目混珠

蕭父奈蘭

雷水散人

四三

新識帆大夫



簸上社平

一犬當戸氣賊不能進矣
犬半犬平勝此猶思似序
勢波半滿乃夜を多は犬ハ
猶ち良傳あて末乃久呂伎
松本英波婆可為

東島齋閑人狂題

南總里見八犬傳第四輯卷之一

東都 曲亭主人編次

第三十回

水閣の舟 舟而雄を資く
江村の釣翁 雙狗と認る

林書和古屋
春月舎

いり屋の人のまゝ禍福糾纏の如く人間萬更往々塞翁馬多き
る。その福の倚る所將禍の伏する所彼あま此あわ。あまも豫て
誰うくその極を知ん憐む。犬塚信乃ハ親の遺言紀の名刀心占身
傳ハ艱苦の中余年を経得る死時を待つ。あまをく。詩我ハ齋く名を
揚家を與まざる。その福禍とゆかり。村西の力ハ舊の物。あま。身
身を辟く。雙をま。憾とあま釋う。あま。緯急。あま。意外。あま。僅
當座の辱を避む。あま。小縣の園を殺。あま。芳流。あま。屋の上。

攀登まじも左右小脱を死道のまひに其必死を究めし中いづるあり
け想像さふのと痛まり。されば又人飼見八信道に犯せる罪のあきどる月来
獄舎小敷れ。禍今恩赦の福我分縛の索解人ゆをかる捕まの役長大塚
信乃を搦めよと。愁小擇むされつ他の憂を自の面目今更用ひるん。
願う。た。と。も。推辞し許さくもあぬ君命重く。弥高死彼樓閣を
三層へその二層ある櫓の上まき。霞せき。登りく。足下遠く雲近く。
照る日烈く。堪えられ。昔六月廿日。あかき。乾蒸の熾熱を。敷瓦に
凸凹隙多く。波濤小似く。下大。河溜。たる。生死の海。朝。潮。洄。名。小
員。坂東太郎水際の小舟楫を絶く。進退既小谷。敵。あ。れ。い。て。これ
敷。留。んと。船。の。樹。修。ふ。如く。さ。と。と。登。果。る。二。層。の。屋。背。ま。目。紫。翳。う。も
る。送。小。透。を。短。の。疾。視。あ。く。立。る。形。勢。浮。圖。の上。る。鶴。の。巢。と。巨。蛇

の窟。小。似。う。け。り。黄。庭。ま。成。氏。朝。臣。横。堀。史。在。村。小。の。老。黨。若。黨。圍。繞。せ。り。
床。几。小。尻。を。う。ち。掛。く。勝。負。怎。生。と。向。上。る。亦。只。閣。の。東。西。ま。身。甲。を。許。さ。の
幸。鎗。長。刀。を。見。る。或。は。箭。を。肩。ひ。弓。杖。突。立。組。ど。落。ま。後。留。ん。と。項。を
反。し。く。こ。ま。を。觀。る。加。旗。外。面。の。懸。連。と。く。杏。の。河。水。遠。く。砌。を。侵。せ。借。使
信。乃。武。吉。又。長。臂。力。衰。む。と。見。八。小。捷。得。る。と。も。墨。氏。が。飛。戈。鳥。を。借。さ。ま。
虚空を翔る。も。あ。く。も。魚。般。が。雲。掠。る。ま。地。上。小。下。る。く。も。あ。く。も。渠。鳥
あ。く。も。羅。小。介。ぬ。獸。あ。く。も。も。狩。場。小。在。る。之。寸。息。絶。ま。緯。糸。休。ん。脱。れ
果。と。と。ん。え。と。け。り。當。下。信。乃。の。初。層。二。層。の。屋。の。上。ま。追。登。ん
と。せ。り。兵。小。を。砍。落。る。後。絶。く。近。つ。め。と。め。今。只。ひ。り。登。ま。ぬ。を。
よ。小。ぢ。え。あ。る。力。士。あ。る。ん。這。奴。は。是。膳。臣。巴。提。便。が。虎。を。暴。出。る。勇。者。飲。又
富田二郎が鹿角を列衣く力ある。飲。遊。共。一。個。の。敵。引。組。ど。刺。送。死。る。難。死。と。そ。の

あつた敵のしるしをみる目小ねと血刀を袴の袴の推し高橋の如く
方掬ふ立る儘小寄るを俟見八も亦あらず。彼大塚が其藝勇悍系う
萬夫無當の敵然とも搦る。他の援を借るとわ獄舎の中うこの役長
擇出され申斐もま。搦捕るとも敵るとも勝負を一時決せん。成とわりのふ
けは些も擬談せむ。却説ふと呼け。今も十と肉く。飛が似く。方掬の
左のうり進登り組んと。寄つむ。あろ。鋭大刀風。鋭刀を
幾石と受。拂不透。数刀尖を挂。流を上下。一。を。踏駐て頻
進む捕の秘術。彼方もあらず。手煉の働。及。あ。大刀筋を。あ。ち
外も。實。い。勝負を。判。廣庭。主後士卒。ふ。汗。握。あ。く
瞬も。せ。氣を。龍。あ。も。い。回。あ。程。犬塚。信。乃。八。見。八。が
武藝。敵。と。は。け。と。あ。勇氣。弥。倍。刀。尖。火。出。あ。寄。て。返。と。

大刀音被声。西虎深山。挑む。然。風。度。二。龍。青。潭。小。戦。時。沛。然
と。雲。起。も。か。ぞ。あ。春。あ。山。峯。の。霞。軟。夏。あ。夕。の。虹。軟。と。可
あ。い。高。閣。の。棟。木。死。を。争。一。為。体。ふ。未。曾。有。の。暗。業。あ。見。八。が
被。龍。の。餘。壯。當。の。端。を。裏。軟。あ。小。切。裂。と。大。刀。を。抜。む。信。乃。刀。の。刃
續。て。初。浅。痕。を。負。の。漸。々。小。疼。を。覺。れ。も。足。場。を。揃。え。接。あ。あ。疊
み。く。數。大。刀。を。見。八。右。の。あ。受。あ。か。ま。あ。つ。け。入。り。け。や。と。被。る。声。と。共。ふ
眉。間。を。望。く。礮。と。打。十。手。を。下。と。受。留。信。乃。刀。ハ。鐔。除。り。折。れ。て。速。小。飛
失。せ。見。八。の。と。あ。と。組。む。を。隨。左。の。引。著。と。送。利。腕。楚。と。會。す。
振。倒。さ。ん。と。曳。声。合。と。接。あ。接。あ。ち。足。此。彼。齊。一。踏。と。河。邊。の。え。涼
涼。と。身。を。輾。せ。覆。車。の。米。苞。坂。う。落。ま。異。時。高。橋。險。一。種。閣。と。
削。成。る。薙。の。勢。止。る。く。あ。と。送。は。合。あ。春。を。緩。め。幾。十。尋。あ。

うちあそ
鼓のこえや
桐一宗
東岡舎
羅文句

天飼見八



天塚信乃

かきうあふ
あふく
刃の
世の中
馬鹿
さけ
物
信天翁
狂題

文五兵衛



邊へ退き、本藩の武者頭新織帆太夫敦光を追捕の本將小澤定め、
件の君命を速傳へ、癖者信乃が相貌へ和殿よく認りつらん又その武藝、刺技へ
和殿のよく知る所へかまふ容易捕物あるを、ちうて、征せん。智をわく
し、しを謀るを、しめれ。縦渠、船中ゆく死うとも。その首級捕て進ませる。ハ
駿馬の骨を買ふ。勝ん、縦日ハ暮るとも。通宵路次を急ぐ。一、遅て罪と
え。ふまると、嚴に提へ、帆太夫うけり。異議及ぶ。俄頃、行装を整へ、日ハ
西山小傾く。比、夥兵二十餘名を、討我の城下を、あちあちと板東河原の下流へ
添ふ。葛飾のふふ、赴らん。不題、下総國葛飾郡行徳より入江橋の梁、麓へ
右那屋丈五兵衛との、あつる。渠、この土地、ふゆ。居停主人なり。妻を
一昨歳、あつる。ふも、只二人。あ。家子、名を小文吾との。今茲、既ハ九歳
あり。そ、身長ハ五尺九寸。穴堅く、骨逞く、膂力ハ百人、ふも、敵とく。器量ハ絶く

市人ハ、似、性、よく、武藝を、好む。総角の、比、よく。親ハ、隠。友ハ、離れ、師ハ、就て
技を、磨く。程ハ、劔術、拳法、相撲の、手、ま、習得、を、い、め、と、あり。その、次ハ、女子、も、
十九歳、ふ、あり。ぬ、その、名、を、沼蘭と、い、ふ。あ、年、二ハ、春の、比、鄰郷、なる、市
川の、舟長、山林房八郎との、壯、佼ハ、歸、る。その、年、の、尾、や、い、か、男兒、を、産、
けり。その、大ハ、と、名、つけ、る。今、茲、は、年、四、才、ま、る。さ、も、這、丈、五、兵、衛、ハ、貨、殖、の
吏ハ、疎、け、る。その、家、素、より、富、ふ、ふ、あり。ね、ど、足、る、と、を、知、ま、ふ。や、衣、食、の、慾、
寡、く、暇、あ、る。く、ハ、江、ふ、立、く、釣、る、を、す。あ、る、樂、あり、と、あり。時、ハ、文明
十、五、六、月、廿、二、日。この、濱、邊、ゆ、牛、頭、天、王、を、う、り、祭、り、あ、る。く、日、ハ、江、山、は、没、
る。里、人、浦、へ、う、ち、雜、り、船、ハ、神、輿、を、乗、て、ま、る。濱、邊、濱、邊、を、漕、廻、く、
吹、鼓、俤、踏、る。さ、く、疫、鬼、を、禳、ひ、或、ハ、海、の、幸、を、祈、り、或、ハ、塩、濱、の、敏、昌、を、禱、
る。土地、の、恒、例、あ、る。け、ま、バ、戸、毎、ハ、酒、を、置、く。遊、樂、ハ、暇、あ、る、日、あ、れた、丈、五、兵、衛、を

さふまぢゆも耽らも客店のるゆゑあま六日間の特小徒然へ祭祀へ曝昏より
 あれは晝寐も候人も益々。霎時ありとも樂んとも釣竿を推さる。むらり江の
 立岩。蘆を折布兒坐を白く餌を串釣をかきせりとも時ハ下晡小近つた
 虚潮の最中あま小漁ひらの獲もるれど好ま夏とく立もるまを夏を
 忘る浦風小蘆兼戦たぐ夕陽の影を素。水や天あう走帆小沙鳥飛く。
 江山の雲入る江小臨石小坐まると萬事只無心なり。竿を揚綸と垂
 とれ二公ゆも換ると古人のひん宣あるる一波動たぐ萬波皆後ひ細
 鱗踊へ巨魚あるを知る樂いも央あまどとんま。あやれ放舟潮小引れ波ふ
 揺まて河源より流ま。水濤木小堰まて招ま。あまこの岸小著とんれ
 船中小兩個の武士あま。此彼倒ま。死せま。如いかるのを。あら置土地の
 煩勞ま。とあふ下をより直ま。衝流さんま。熟る小倒ま。一個の

武士の茶褐色の麻衣小縹色なる麻袴の下折揚と腰を頭。頭髪を乱し。
 齒を切り。左の時と右の股は肩より浅瘡二個所あり。又倒ま。一個の武士を
 細録の着龍勒肚ま。平金の條龍手小亀甲入る脚指ま。あまを切
 剥衣ま。是も左の肩尖は浅瘡一個所あり。月額の亦長く伸く長吉結
 離。髪の小の素ま。顔小かま。右の頬尖小瘡あり。形牡丹の花小然
 是も豫と認る。その人あま。とあふ。ちも措ま。て怪。絆乃為
 体小。ち騒ぐ。月を鎮め。江水小引く。その纜小釣鉤をうち掛く。か
 下。引。江渚の石小懸。留め。船小。乗。又これ彼成
 つま。の。情想像。の。絶。く。ま。正。死。深瘡
 あま。人。と戦。西人共。破倒。此彼戦。一
 倒。呼。活。緑故。知。わ。小瘡あり

人を抱え起し声高く呼ぶ。人の勤むともどもとてあつて呼吸復た困
 る。果て又臥さしめ馳く。宿所は走る。薬を取らばとて。素肌を
 素肌を倒し。武士の服腰を。素肌を倒し。素肌を倒し。素肌を倒し。
 忽ち云と声高く。身を起し。四下を見え。抑あへ何國の浦ぞ。和殿ハ亦
 是何人ぞ。向て。敬馬く。丈五兵衛ハ小膝を突く。顔うち成り。必ありて呼
 活。その人ハさてもく。識らぬ。あんが生。あか。下。総。葛。飾。行。徳。
 入江あり。某。里の旅店。丈五兵衛と呼ぶ。あ。この蘆原。小。釣。折。この船ハ
 流。寄。り。あ。顔。尖。は。痣。あ。人。を。詩。我。の。御。所。多。走。卒。大。飼。見。兵。衛。め。
 の。子。見。八。信。道。と。あ。ま。と。豫。認。ま。う。わ。れ。ば。う。ち。も。措。き。船。を。引。あ。せ。
 扱。さ。ま。く。小。勤。る。程。あ。つ。ま。む。ん。才。が。あ。る。生。あ。り。同。藩。中。の。朋。輩。多。く。飲。船。小
 倒。と。う。の。ら。ま。ど。流。と。ま。ぬ。る。故。と。あ。め。その。顛。末。と。い。ふ。ぞ。と。向。へ。

多く嘆息。後難を憚る。苟も偽飾んと欲する。武士たるもの。本意の
 い。や。ち。の。實。を。告。げ。し。武。藏。の。江。戸。か。ち。た。大。塚。村。小。由。緒。あ。る。郷。士。大。塚
 信。乃。成。孝。と。い。ふ。の。祖。父。匠。作。三。成。ハ。成。氏。朝。臣。の。兄。と。い。ふ。春。王。安。王。兩。公
 達。小。傳。と。ま。り。結。城。と。く。戦。死。あ。り。父。大。塚。番。作。ハ。深。癩。小。う。り。て。行。步
 か。る。ど。廢。人。と。な。り。一。ハ。舊。領。大。塚。村。小。退。隱。一。齡。四。十。九。歳。一。ハ。文。明。二。年。ハ
 才。あ。り。ぬ。そ。の。五。十。一。歳。腹。う。ち。伯。母。と。ま。の。家。を。あ。つ。た。年。を。經。く。
 此。度。詩。我。へ。親。の。ま。言。あ。る。と。彼。公。達。の。お。ん。像。見。あ。る。村。兩。の。名。刀。を。
 祖父匠作。相傳。と。吾。侪。と。二。世。小。及。ぶ。の。時。到。り。詩。我。殿。へ。進。せ。よ。
 と。い。ふ。親。の。志。を。い。ふ。嗣。人。と。い。ふ。年。來。守。り。て。腰。よ。る。さ。び。か。う。登。り。時。を
 得。て。う。ぶ。を。詩。我。へ。齎。せ。り。山。堂。と。い。ふ。や。件。の。宝。刀。ハ。人。の。為。小。抜。か。え。れ。我
 見。糸。の。日。知。る。あ。う。と。成。訴。る。い。と。あ。る。敵。と。う。の。間。諜。者。欽。と。疑。ふ。

「ふ」の薄命虚実も糾さく狐疑ふは横堀史か下知小後小當坐の力士
數十人生拘へしむる立り。これ阿容とも成束縛を受獄舎小敷を
無實の罪小命を損ふ。ふがむるの恥を父祖の名をうもつべしと
多へ危窮を脱え為小已をひき血戦く。廣庭小走出檐より檐小ひ
いと高れ屋の棟小登く。且息代吻く程この大飼見八とやえ和殿小うて
その名を知ぬ只ひとり追登る時根るよぐ挑戦か。大刀竟に折れ
引組と接あ。程又齊一足を踏に。組方儘小外面る。大河の岸小縁死
る船中。小落れと思ひ。その後をえむ人も我も息絶。流さるる小
ふさるるを今さ。かぶ落めるとたふの繼ハ張勢。潮のまぐ流されん
不思議といふ見のさる。初戦か。さるはゆもむつさる。今見ハ面部
の痣の牡丹の花小似る。成ん。さ。故郷ある

大塚小糠助と。いふも食。れ百姓わけり。ふが父なま。り。時間ちく
住の。のさる。左右につけ。疎ふ。父あ。なま。後。日。孤。小
憐ふ忠。心。大。さ。ね。ふ。れ。も。亦。誠。り。と。交。る。の。さ。る。か。件。の。糠。助。ハ
玄。歳。の。七。月。某。の。日。小。時。疫。ふ。さ。る。さ。る。又。その。折。小。聊。薬。餌。の
料。を。贈。り。老。病。を。責。を。責。る。恩。を。感。じ。義。は。は。て。その。臨。終。の。さ。る
あり。その。言。ハ。如。此。さ。る。固。様。と。糠。助。が。安。房。を。追。放。せ。し。此。行。徳
の。入。江。橋。小。見。女。兒。を。抱。え。身。を。投。ん。と。折。武。家。の。形。脚。小。推。禁。れ
その。論。小。より。さ。る。小。仕。と。絶。小。二。歳。の。一。子。を。その。人。小。贈。り。さ。る。夏。の。越。を。説
示。當時。件。の。武。家。の。形。脚。ハ。成。氏。朝。臣。の。御。内。人。と。な。る。の。さ。る。各。字。を。同。せ
糠。助。も。亦。名。告。り。さ。る。小。別。と。さ。る。親。子。再。会。の。さ。る。小
さ。る。糠。助。子。の。乳。名。を。さ。る。を。名。づ。く。さ。る。右。の。類。小

うねば願字一甲斐ありく彼鬼もよく肥うか。二月あつと麻生く見兵衛
 ぬ又うへまの件を思ひ仰り少れども。懇切をめふより。年始小状より
 まよて矢の音耗疎々む子ともの安否然訊問。數の年と經る程小一昨歲
 の秋の比見兵衛ぬハ里見殿へん使をうけ。多う。その處をふその子共侶
 コノ家小止泊。つ投いけりかう。日既ぬ老。まが。役義と勤。よりて
 拙郎見ハ小見習せむやと。必ひ。横堀殿は諸。後者ぬ。と。それ
 實ハ丈夫。ある。和殿夫婦ぬ。ん。渠。比より。老。て。卒
 武藝を好め。いと。二階松山城ぬ。の教を受。弱輩。拔卒
 の高弟と稱せ。就中巻。法捕物ハ。藩中。双の力士。とい。る。その。名。知
 らぬ。此ハ得。る。もの。この子を養ひ。より。時内室の乳を。う。く。字育
 る。恩義あり。か。ま。子息小文吾と。俗ハ。乳兄弟。ゆ。その年。歳。も。同

い。且小文吾も武藝を。好む。軟筋骨の。逞。ぎ。う。臂力も。と。推。ち
 了。あ。此と彼と。好む。野も。相似。う。彼小兄。を。く。ま。不。分。あ。と。め。を。忘
 じ。ゆ。ん。為。小文吾と見ハ。兄弟の。義を。結。せ。久。後。も。懐。か。ん。和。殿の
 心。い。ふ。や。と。同。く。某。一。謗。及。び。妻。小。告。子。小。告。く。願。く。その。意。小。任。け。
 聊。酒。宴。の。席。を。開。け。て。勸。盃。の。義。を。と。り。見。ハ。郎。ハ。長。禄。年。十。月。下。旬。小。生
 と。護。付。禮。小。の。ま。の。正。し。書。札。あ。と。い。ふ。子。小。文。吾。ハ。か。の。年。の
 上。月。小。は。れ。一。個。月。の。健。速。も。も。長。少。の。傾。分。明。へ。く。ま。詰。朝。大。飼。親。子。ハ
 辭。我。へ。く。還。餘。波。を。惜。む。と。ま。か。妻。ハ。け。程。多。持。病。の。病。う。積。く。ゆ。と
 果。敢。る。世。を。逝。う。見。兵。衛。ぬ。を。去。歲。の。夏。病。う。ら。か。と。旬。あ。ま。う。これ。も。黄
 泉。の。客。と。う。ぬ。と。風。の。便。ゆ。え。り。ま。ま。今。こ。の。人。ハ。子。小。文。吾。ハ。義。兄。弟
 あり。子。小。文。吾。ハ。善。と。與。義。弟。進。め。ハ。里。の。壮。校。長。と。達。る。で。使

一思ひけり。嚮小某。方流園の棟を踏外し。落ぬ。と。水際の舟に受れ。と。い
後。い。と。ゆ。わ。と。死。し。この江に流し。寄。を。告。が。人。あり。と。か。枕。邊。に。と。この。冬。
ふ。親。の。名。と。こ。名。を。い。ふ。ち。驚。た。人。あり。と。か。枕。邊。に。と。この。冬。
似。り。の。心。を。鎮。め。この。の。を。詳。し。使。け。大。塚。の。孝。心。義。胆。古。郡。屋。の
翁。が。誠。諫。辨。論。彼。幾。條。の。問。答。あり。と。か。人。の。人。の。舟。に。討。れ。と。い。れ
行。徳。の。入。江。の。は。と。ふ。年。来。相。識。る。里。老。人。に。い。ふ。と。元。と。復。れ。生。れ。と
知。る。と。人。の。誠。を。又。う。れ。感。涙。坐。は。胸。は。満。ち。端。々。お。い。え。へ。恥。づ。の。腰。を
折。ん。う。言。果。る。ま。で。や。て。ん。と。い。ふ。そ。も。臥。を。を。か。り。一。程。大。塚。の。道。を。立
義。小。仗。と。自。殺。と。い。ふ。為。体。小。驚。遠。く。身。を。起。し。馴。し。く。も。禁。め。う。と。あ。い。れ
ふ。大。塚。の。和。殿。の。い。ふ。と。某。が。実。父。の。人。を。知。る。故。小。今。君。命。を。外。れ。と。か。私。を
厚。ま。う。鳥。辭。の。い。ふ。と。か。い。ひ。も。と。か。う。と。詳。し。と。い。ふ。某。が。親。見。兵。衛。の。微。禄。卑

職。の。い。ふ。と。も。生。平。小。陰。徳。を。宗。と。し。偽。飾。を。と。ぬ。ま。と。と。れ。ば。と。某。の。い。ふ。と
な。り。う。養。ふ。と。取。乳。を。と。う。字。育。れ。その。恩。ハ。實。の。親。小。異。る。と。も。わ。と。か
と。い。ふ。と。か。東。西。を。知。る。と。い。ふ。と。蛭。蛉。児。あり。と。か。苟。且。ふ。も。隠。さ。と。い。ふ。と。時。二。親。對
坐。と。い。ふ。と。吾。侪。を。膝。の。上。に。召。と。せ。初。吾。侪。を。親。ひ。と。し。一。緯。の。趣。を。説。し。と。い。ふ。と
実。父。の。像。見。と。い。ふ。と。今。一。も。腰。小。著。さ。せ。と。護。符。囊。の。と。と。う。内。小。物。と。い。ふ。と
わ。り。脐。帶。を。巻。と。い。ふ。と。紙。の。端。に。書。記。あり。長。禄。二。年。十。月。廿。日。誕生。と。安。房。四。の
住。氏。糠。助。が。一。子。女。吉。子。産。毛。脐。帶。並。と。云。と。識。し。たり。女。筆。と。い。ふ。と。母。の。い。ふ。と
と。い。ふ。と。実。父。ハ。當。初。安。房。を。追。放。せ。と。迷。と。う。の。い。ふ。と。れ。ば。と。の。往。方。定
と。い。ふ。と。実。母。ハ。當。年。力。あ。り。と。と。う。り。傳。へ。り。父。の。父。母。ハ。か。ま。で。小。薄。命。と。い。ふ。と
と。い。ふ。と。親。の。名。又。弟。の。名。成。長。後。と。い。ふ。と。勉。と。互。に。心。を。め。と。と。教。訓。と。い。ふ。と。寧。と
け。と。稚。と。い。ふ。と。悲。と。い。ふ。と。恥。と。い。ふ。と。涙。を。包。む。梓。の。袖。顔。小。當。れ。と。い。ふ。と。り。

廣なる陝心地。中にもある勢を。是よりいふ。不忠を將大に。二親の爲疎みせむ名を揚家を與さる。養父母の恩か。とふ。たゞ。實父乃恥を雪め。と。思ひつけ。迎。武藝。ハ。社友。後。日。思。ひ。當を聚る夏の夜も雪を固める冬の日も睡を破。創を忍。口。親の。の。の。斯行の。年を。経。く。歳。春。夏。二。月。が。間。小。二。親。を。喪。ふ。人。の。眞。愛。る。親。を。喪。ふ。哀。し。も。又。あ。の。あ。の。哀。戚。の。涙。を。乾。く。も。待。ぬ。日。数。の。立。と。を。あ。く。已。む。も。果。く。出。さ。る。父。の。職。を。嗣。ぐ。も。又。この。春。の。役。を。轉。ぐ。獄。舎。長。小。の。を。と。り。その。と。某。の。中。に。亡。父。の。慈。悲。あ。く。放。生。の。も。と。と。血。の。殺。生。せ。し。る。の。り。職。役。い。と。又。さ。る。小。の。れ。その。子。と。獄。舎。長。を。ふ。の。ん。へ。お。憂。る。も。且。執。權。横。堀。史。在。村。ハ。權。を。弄。び。威。を。逞。し。く。人。を。虐。る。と。大。々。々。罪。を。う。く。獄。舎。小。の。を。と。り。命。を。預。め。の。ヨ。ス。り。え。ふ。と。そ。の。れ。ら。如。れ。ち。う。り。て。そ。成。救。ふ。と。の。る。う。も。綴。職。役。あ。ま。と。罪。を。人。を。罪。を。ひ。て。呵。責。の。咎。を。執。人。と。思。ひ。び。く。れ。と。ふ。る。人。が。父。も。職。卑。く。譜。第。忠。心。顧。の。御。家。臣。と。も。今。と。轉。役。の。義。を。辞。し。や。う。さん。小。の。聽。さ。と。も。身。退。く。と。も。其。一。き。不。忠。小。の。と。又。其。一。れ。不。義。あ。う。養。父。母。の。ま。そ。か。り。日。小。の。が。隨。る。旅。行。と。實。父。の。所。在。を。索。る。不。義。を。養。父。母。既。小。世。を。逝。る。ふ。實。の。親。の。存。亡。生。死。と。ら。小。の。む。不。孝。あ。う。人。退。糧。せ。ら。く。小。幸。あ。う。今。と。尋。由。心。恥。上。通。の。願。状。を。と。ま。り。獄。舎。長。を。辞。し。や。う。せ。ら。く。横。堀。史。怒。拒。る。役。も。免。さ。と。身。の。暇。も。賜。さ。と。上。を。蔑。小。ま。罪。車。と。忽。地。獄。舎。小。移。さ。と。無。慮。百。日。あ。う。を。經。る。か。る。と。れ。小。も。彼。像。見。る。護。符。囊。を。親。と。と。人。小。知。さ。と。且。も。口。と。成。の。と。め。よ。と。の。と。り。や。首。と。刎。ら。と。と。の。と。と。吞。く。肚。に。龍。元。人。と。思。ひ。決。め。小。嚮。小。猛。罪。を。免。さ。と。癖。者。信。乃。を。擲。と。と。異。る。嚴。命。と。と。の。と。と。横。と。と。

廣なる陝心地。中にもある勢を。是よりいふ。不忠を將大に。二親の爲疎みせむ名を揚家を與さる。養父母の恩か。とふ。たゞ。實父乃恥を雪め。と。思ひつけ。迎。武藝。ハ。社友。後。日。思。ひ。當を聚る夏の夜も雪を固める冬の日も睡を破。創を忍。口。親の。の。の。斯行の。年を。経。く。歳。春。夏。二。月。が。間。小。二。親。を。喪。ふ。人。の。眞。愛。る。親。を。喪。ふ。哀。し。も。又。あ。の。あ。の。哀。戚。の。涙。を。乾。く。も。待。ぬ。日。数。の。立。と。を。あ。く。已。む。も。果。く。出。さ。る。父。の。職。を。嗣。ぐ。も。又。この。春。の。役。を。轉。ぐ。獄。舎。長。小。の。を。と。り。その。と。某。の。中。に。亡。父。の。慈。悲。あ。く。放。生。の。も。と。と。血。の。殺。生。せ。し。る。の。り。職。役。い。と。又。さ。る。小。の。れ。その。子。と。獄。舎。長。を。ふ。の。ん。へ。お。憂。る。も。且。執。權。横。堀。史。在。村。ハ。權。を。弄。び。威。を。逞。し。く。人。を。虐。る。と。大。々。々。罪。を。う。く。獄。舎。小。の。を。と。り。命。を。預。め。の。ヨ。ス。り。え。ふ。と。そ。の。れ。ら。如。れ。ち。う。り。て。そ。成。救。ふ。と。の。る。う。も。綴。職。役。あ。ま。と。罪。を。人。を。罪。を。ひ。て。呵。責。の。咎。を。執。人。と。思。ひ。び。く。れ。と。ふ。る。人。が。父。も。職。卑。く。譜。第。忠。心。顧。の。御。家。臣。と。も。今。と。轉。役。の。義。を。辞。し。や。う。さん。小。の。聽。さ。と。も。身。退。く。と。も。其。一。き。不。忠。小。の。と。又。其。一。れ。不。義。あ。う。養。父。母。の。ま。そ。か。り。日。小。の。が。隨。る。旅。行。と。實。父。の。所。在。を。索。る。不。義。を。養。父。母。既。小。世。を。逝。る。ふ。實。の。親。の。存。亡。生。死。と。ら。小。の。む。不。孝。あ。う。人。退。糧。せ。ら。く。小。幸。あ。う。今。と。尋。由。心。恥。上。通。の。願。状。を。と。ま。り。獄。舎。長。を。辞。し。や。う。せ。ら。く。横。堀。史。怒。拒。る。役。も。免。さ。と。身。の。暇。も。賜。さ。と。上。を。蔑。小。ま。罪。車。と。忽。地。獄。舎。小。移。さ。と。無。慮。百。日。あ。う。を。經。る。か。る。と。れ。小。も。彼。像。見。る。護。符。囊。を。親。と。と。人。小。知。さ。と。且。も。口。と。成。の。と。め。よ。と。の。と。り。や。首。と。刎。ら。と。と。の。と。と。吞。く。肚。に。龍。元。人。と。思。ひ。決。め。小。嚮。小。猛。罪。を。免。さ。と。癖。者。信。乃。を。擲。と。と。異。る。嚴。命。と。と。の。と。と。横。と。と。

借しは是在村々奸智の所為歟彼信乃が成借りて。こゝを殺さんと謀り
の然とて逃る道あり。搦捕るとも移りとも只速に勝負を決し不測の功を
立す小至る恩賞の身の暇を乞受退きんとすの。こゝ為ゆゑの親の
恩入るを知りて頻に挑戦ひふきり。あのみ小くは戦ひて。和君を搦捕る
る。送ふ後悔脛を喰ひ嗚呼危れかも危なり。親と親との精霊の擁護神明
の冥助もあらず。組る俤小船の中は落し和君へ危急を脱れ某も亦折を
ゆる。稍身退くのとるも。落る時の疼痛もあらず。送ふ命恙あり。こゝ素懐は遂
る。定ぬるまゝ。幸なり。郷中只その大く。側坐し。親の。こゝ。精細に
あは。大塚めと上坐し進め。障子席もあらず。あは。こゝ。外へ。言
の。兼の戦ふ。元浦風ひ。涼し。壯夫の心の底へ見れ。信乃。只。管。感。嘆。と。
うち傾け。頭を擡。大飼生。志ある。ゆゑ。誰か。そ。あ。と。和。殿。の。実。父。の。行。状。へ。

一朝小説盡さへ。その性も。老實なる。木訥なり。仁小。近。絶て。悪意。毫
老人。終。馬。の。七。月。廿。二。日。の。晩。天。小。往。生。の。觀。念。の。愛。と。享。年。六。十
一。歳。を。ゆ。え。長。祿。四。年。の。比。と。安。房。の。洲。崎。を。流。浪。と。武。藏。の。大。塚。を。
土。民。初。七。の。の。め。後。家。の。入。夫。あ。り。と。あ。小。十。又。八。年。を。送。ま。り。さ。び。し。
この。婦。あ。り。も。あ。り。と。一。年。を。と。一。昨。歳。の。秋。を。ま。り。と。親。族。も。と。
家。財。あ。り。と。あ。り。と。彼。人。の。臨。終。に。竊。は。吾。侪。小。託。せ。只。是
和。殿。の。の。の。往。時。女。房。の。洲。崎。と。和。殿。が。す。れ。七。夜。の。日。小。糠。助。老。人。の。細
せ。鯛。を。と。と。庖。下。と。と。魚。の。腹。小。玉。あり。と。文字。の。と。の。の。を。と。
取。と。産。婦。小。讀。と。と。訓。む。信。の。字。と。と。の。是。と。と。妻。の
筆。の。と。の。誕生。の。年月。と。乳。名。と。感。得。の。玉。の。と。と。紙。の。端。小。書。つ。け。と。
産。毛。所。帶。の。共。と。護。符。裏。小。納。め。と。玄。吉。の。君。と。父。小。後。ひ。と。と。と。鎌。倉

よう。辭我中を程りけり。護符囊を失ひて。今も不果がけり。小あをんそれを證ふ
あまの紛きわう。といひまう。その玉今もありや。と問ひ見公。遽し。の。膚小著る。
囊の紐を解き。うち披見某。竟小縁あり。和君小名告あり。さ。實父の
人を斯も。小巨細ある。や。あ。え。や。月来獄舎小繫れて。護符囊を放
さ。む。て。その玉を失ふ。死塵え。ま。を。て。小あ。と。回答。て。を。當。小果の
玉をさ。示。せ。信乃。受。方。て。つ。く。り。を。隋王夜光。認。ら。る。十五城。小換。の。小
宝。中。そ。と。稱。ま。見。八。懷。舊。小。堪。目。皮。を。ま。へ。て。物。數。め。り。あ。あ。の。
ね。と。某。が。養。父。の。名。乗。を。降。道。と。唱。う。り。や。又。某。が。名。を。信。道。と。命。け。れ。り。
道。則。養。父。の。隻。字。信。則。この玉の文字。を。も。表。う。る。實。の。親。の。像。見。と。の。像。
や。今。を。も。玉。の。出。知。い。ま。も。奇。え。こ。思。入。大。塚。や。和。君。の。賜。多。け。り。と。い。ふ。
ま。信。乃。の。憶。も。ぬ。り。額。を。拊。そ。和。殿。の。ま。え。ん。と。某。も。亦。本。意。小。稱。へ。り。

過分の賞美。ハ。當。り。か。て。この玉を。と。て。親。を。め。む。う。あ。う。れ。又。一條。の。奇。彩。
あり。某。も。この玉。小。毫。毫。違。ぬ。藏。る。その玉。小。孝。の。字。あり。原是。母。が。感。得。し。て。
失。ひ。の。あ。れ。その。ち。母。世。を。逝。り。父。の。身。も。う。け。り。と。い。ふ。云。云。の。故。あり。て。与。四。郎。
と。名。つ。け。る。家。狗。の。痕。口。の。件。の。玉。小。あ。れ。や。某。が。小。入。り。ぬ。只。この奇。異。あ。の。と。
ある。も。その玉。を。獲。つ。比。忽。然。と。り。某。が。左。の。腕。小。痣。い。で。す。形。牡丹。の。花。小。似。り。
介。後。八。年。な。り。經。て。糠。助。老。人。が。迷。言。小。魚。腹。小。獲。る。玉。の。和。殿。の。痣。の。上。を。も。
詳。小。説。示。され。り。竊。小。必。へ。こ。王。と。又。小。痣。小。相。似。さ。り。これ。宿。業。の。致。を。所。歎。小。か。
友。大。川。莊。助。も。感。得。の。玉。こ。ま。あ。り。と。その玉。小。義。の。字。あり。と。義。任。と。名。た。れ。
と。も。假。小。字。を。額。藏。と。い。ふ。渠。ハ。身。柱。の。房。う。り。右。の。胛。の。下。も。痣。あり。て。その形。相。
同。い。か。れ。糠。助。老。人。が。子。も。これ。と。異。姓。の。兄。弟。な。と。思。ひ。と。う。い。ふ。と。い。ふ。友。の。
い。と。あ。う。れ。心。地。り。今。その。人。と。玉。を。見。ん。い。も。過。世。あ。る。を。知。れ。り。小。王。を。見。る。疑。ひ。

立地ふ水解せんといひ。且見八八渠が玉を返し。項に掛る懷裏の笏解披て
玉を視せ左の肩をわし祖たる腕の痣をさへせ。見八つくとその玉試み。
痣はる奇也妙也と唱歎し。信乃と面を合はるとの屋かけを憾るの意ふ
ちく玉を取。裏ふ納め。項に掛る共侶に跪き天地を拜し。誓をさす。彼桃園
の義と結びぬ。文武兵衛ハ初る默然と。成父死す。此彼の物語をつく。今傷より二顆の玉をさす。驚嘆し。兩人ふち對ひかく。鴻溝に似れ
と。子小文吾ハいね比見八敷と兄弟の約をさす。懸ハ既ふを。上ゆい。さ
大塚殿の侍ふ。あも。只その爹と見兵衛ぬ。懇ふ仕せ。のさ。今更なりハ
小文吾ハ大塚殿ふも過世ある。然る。この盟約の席の下。與ふ。あ。渠も
一顆の玉をさす。その二顆の玉に似る。彼玉に見れる文字の。異なり。孝悌
の字あり。さ。市人ふ。あ。てもあ。さ。各告さ。渠み。撰定めて。悌順

と名つる。玉の文字を取。件の上の出れ。講ふ。聊又大飼生の魚腹の玉と相
ふ。小文吾ハ尚襤褸あり。け。時食初の祝。赤豆飯を造。膳物蔬物
膳形の如く安排。折敷を嬰兒に推さ。飯粒を哺。高盆の飯中へ
衝突。箸ふ。滾と落。轆物あり。取。件の玉。原その碗。飯の中
あ。死物。あ。さ。尤不思議の。飲。且。玉の美。細。愛。求て
獲。死宝。あ。恥て。小文吾ハ護符。裏に納。渠。今。秘藏。加。小文
吾ハ市人の子に似。総角の比。親。隠。武藝。好。力技。さ。
か。年。八。の。比。け。十五歳。童。相撲。を。歌。け。投。れ
も。果。已。も。尻。居。に。あ。さ。甚。石。小。醫。を。撰。せ。大。死。る。痣。で。来。年。を
浮。随。消。失。せ。痣。生。憎。小。濃。る。形。牡丹の花に似。あ。さ。これ。の。奇
異。ふ。は。り。て。人。小。若。見。八。の。も。こ。の。さ。知。さ。め。り。今。ふ。わ。れ。小。文

吾ふあつて件の王と恋をふまう。真実をて密語を兩人頻に勝の進むをなほえむ。
見へ信乃をいふ。其いぬる年彼小文吾小對面。その人柄と知るめ。その處
過世わえん。つやく。ひひり。た。藏。ねども額藏の莊助と共ふま。四人同因
同果の過世あけん。ふ。憑。く。い。の。信。乃。も。う。点。頭。と。微。妙。く。文。五。兵。衛。老。人。令。郎。ハ
その勇力の捷。うの。ま。ま。志。も。世。の。人。小。立。勝。り。う。の。の。願。い。詳。小。出。あ。と。同
れ。然。然。と。う。ち。微。笑。い。ふ。う。う。も。い。ふ。も。渠。武。藝。を。嗜。む。聊。又。因。縁。あり。恥
し。る。あ。某。素。姓。を。い。ふ。安。房。半。國。の。主。あり。け。神。餘。長。挾。ぬ。光。弘。朝。臣。の。近
習。の。臣。那。古。七。郎。由。武。か。あ。當。初。山。下。柵。左。衛。門。定。包。が。逆。謀。あり。光。弘。横。死
を。多。い。と。兄。あ。く。い。七。郎。ハ。金。碗。八。郎。孝。吉。が。舊。僕。杉。木。朴。平。洲。崎。落。手。戦。て
矢。度。小。五。坊。を。砍。倒。せ。う。ど。その。刃。も。遂。小。深。痕。を。負。く。杉。平。小。終。れ。う。その。時
某。十八。歳。弱。冠。あり。ま。ま。仕。へ。む。且。多。病。あり。け。ま。定。包。を。敵。え。れ。志。願。も。あ。る。を。

母の舊里より。この行徳は。落。甲。後。小。客。店。と。う。ろ。小。及。の。家。跡。を。右。那。屋。と
唱。初。那。古。の。苗。字。を。轉。倒。せ。う。の。刃。市。人。と。あ。り。か。父。祖。ハ。武。井。の。家。臣。と。り。と
拙。郎。小。文。吾。ハ。自。然。と。武。藝。を。嗜。む。め。飲。渠。身。長。ハ。五。尺。九。寸。筋。力。の。限。ハ。い。つ。る。を
あ。る。子。あ。り。く。も。知。る。最。小。の。里。小。拙。權。大。太。とい。ふ。惡。棍。あり。その。面。顔。落
路。の。舞。乃。如。く。足。ハ。伊。勢。蝦。の。殻。の。如。く。その。筋。力。飽。き。剛。く。心。悍。く。曲。め。を
酒。と。賭。博。を。好。む。ふ。年。未。浦。里。を。横。行。く。あ。る。家。毎。小。或。ハ。錢。を。借。り。或。ハ
衣。を。借。り。返。さ。ま。り。聊。も。債。を。促。さ。の。あ。ま。理。不。盡。小。打。倒。と。錢。を取。せ
ま。ま。巴。ま。ま。癡。者。あり。け。ま。も。領。主。十。葉。殿。の。弓。箭。哀。へ。政。吏。等。閑。あ。る。
訴。し。ま。く。も。あ。る。人。皆。毒。蛇。の。如。く。怖。れ。彼。奴。が。怒。小。觸。と。の。心。を。嫌。て。奥
程。あ。る。と。大。太。ハ。醉。狂。の。あ。り。里。の。真。中。小。一。條。の。柵。權。索。を。引。渡。し。索。ハ。紙。牌。を
結。さ。み。く。二。の。所。を。過。ぐ。ん。と。欲。さ。る。め。ハ。錢。百。文。を。出。さ。し。倘。そ。の。錢。を。齎。せ。推。て

小文吾
任俠
大太
拉

つゝもの太



小文吾



過のゆゑ大太が首をひききり。大太死すも恨めと筆太が書つてその
方へそのやうする。石ふ尻をうけたり。是ゆゑ人食途を去る。治難義小及
けり。その年小文吾十六歳竊ふ大太が悪行を憤り衆人の為親ゆゑ隠す。
むすもその所は越えり。件の索を引割離し人を通さんと。程小大太を大く
怒り。衝と身を起し。遮留め。梁螺の如く。煮て固め。小文吾が眉の間を
撲んと進むを引外し。足を飛と破と蹴る。蹴らるゝ大太の身を轉し。忽地撞と
倒るを起し。もそを乗し。かつて中腔を蹴蹴る。さうも小悍れ。悪棍なれども。
胃骨折けり。足は胸撞き血を吐くと泉のやう。言句も出で死にけり。當下
立聚る里人。小文吾が比類なれ。働れ。死ん。且驚れ。且歡び。感嘆の声を
合と。言ふ。さうも。彼柳權の大太。當初鎌倉を追放せられ。さう里へ来
るゆゑ。同類も。妻子も。けり。殺し。さうと。崇へ。あ。是ゆゑ。世の人。遂ふ

拙郎。小緯號し。大田小文吾と喚做す。太の字と田の字と音訓同。惡棍大太を
蹴殺し。里の忠を掃へる。抜びのあま。さう。某の件。のる。次の見。小文吾。後悔
驚。て。拙郎を。つけ。血氣の勇。を。威め。教訓の辞。を。盡せ。小文吾。後悔
と。刀を。帶る。と。抜け。ゆ。人。と。争ふ。と。敷。ゆ。り。を。誓ひ。渠。を。孝。心。あ。行。を。
改。んと。誓。ひ。の。親。を。あ。の。の。似。さ。う。か。う。又。近。た。う。鎌。倉。小。大。先。達。念。玉。修
驗。道。觀。得。と。い。ふ。西。個。の。山。伏。あ。を。け。り。并。小。我。慢。の。惡。僧。あ。れ。武。藝。を。皆。相。撲。と
ぬ。め。り。先。祖。の。兄。弟。の。分。を。さ。う。今。さ。う。ち。う。れ。族。あ。と。も。年。來。先。達。職。の。得。成
事。と。果。さ。と。双。方。證。の。文。書。あ。と。西。官。領。も。今。更。小。黒。白。を。決。め。り。和。談。を。効。め。り。
一。と。さ。の。ゆ。え。念。玉。觀。得。は。且。く。その。諍。ひ。を。輟。譚。さ。う。い。と。も。か。こ。き。壁。を。穿。て。
昔。惟。高。惟。仁。同。胞。の。親。王。宝。位。を。争。ひ。め。り。時。相。撲。の。勝負。を。め。り。その。甲。乙。を
定。め。め。り。い。と。め。り。至。尊。争。ひ。果。多。め。り。か。る。例。あ。る。あ。と。さ。う。を。御。也。も

相撲をいふ。所詮相撲の勝負あり。勝るもの所得を増へ負るもの弟子と
あふちやと熟談く。込ふ誓紙を取。遂に彼此名こそ相撲を真なり
と程か念王坊。丈五をを侍せけん。みづうこの行徳。指す渠も相譚の
観得坊。小丈五。妹夫市川の里人。山林房八郎。脊力飽まで人提れ。春
去相撲を善と仰ぐ。彼れいれく相譚。件の山林房。今廿二歳あり。
川船數艘と奔く生活。渠も亦徳角より。泰は法相撲を嗜む。既ふその技ふ
長。身長五尺八寸。脊力ハ山をも抜く。その名近國。隠る。さきその面影ハ
優美。壮俊。斯のいれ。これ大塚。何とく似たり。所云他人の猿。有る。かく
本月十八日の未明。幡の杜頭。て件の相撲のけり。東西の機敷を掛。て念王觀得
の西修驗後者と共ふ。こは。親き彼此の里人。ふも見せり。行司。西家より。入。出。る。
初。小丈吾と房八。弟子。小。合。あ。その小相撲。九番。果て。第十番。山林と
大田。結。の相撲。彼。西修驗の機敷。こ。親。の唾を飲。腕を扼。勝負を
呼吸の間。俟。行司。左右の氣息。合。ヤツと引。團扇と共。双方。一。立。あ。う。
組。別。互。外。技。力。も。優。さ。半。晌。な。う。接。め。程。ふ。こ。ん。か。う。
小丈吾。左を差。山林。腕を閃。と振。け。足。操。被。んと。う。れ。背を破。と撲
一。房八。西。三。歩。走。か。如。く。跌。飛。く。俯。し。ゆ。ん。倒。と。う。媚。と。め。め。ま。も。勝。負。ふ
咄と被。る。声。雲。時。鳴。も。止。り。け。る。と。小丈吾と房八。睦。か。も。某。と
豫。う。さ。る。わ。ん。と。思。量。て。ま。ぐ。禁。う。け。も。彼。も。ね。む。ま。め。人。の
難。の推。辞。と。且。怯。う。る。と。の。り。ま。と。ん。と。外。を。厭。ふ。と。め。く。竟。小。用。ひ。と。
怒。る。と。け。り。と。ゆ。ち。小。前。も。果。相。撲。打。出。ま。か。浦。邊。の。ふ。笛。大。鼓。の。音。や。え
け。文。五。兵。衛。と。う。く。あ。る。夫。止。を。孟。の。話。説。小。実。が。入。り。と。西。所。の。疲。勞。も。顧。之。日。
暮。も。忘。れ。り。彼。俚。樂。ハ。牛。頭。天。王。の。神。輿。洗。の。供。奉。船。こ。の。浦。里。も。祇。園。會。も。例。

大田が結の相撲。彼西修驗の機敷。こ親の唾を飲。腕を扼。勝負を
呼吸の間。俟。行司。左右の氣息。合。ヤツと引。團扇と共。双方。一。立。あ。う。
組。別。互。外。技。力。も。優。さ。半。晌。な。う。接。め。程。ふ。こ。ん。か。う。
小丈吾。左を差。山林。腕を閃。と振。け。足。操。被。んと。う。れ。背を破。と撲
一。房八。西。三。歩。走。か。如。く。跌。飛。く。俯。し。ゆ。ん。倒。と。う。媚。と。め。め。ま。も。勝。負。ふ
咄と被。る。声。雲。時。鳴。も。止。り。け。る。と。小丈吾と房八。睦。か。も。某。と
豫。う。さ。る。わ。ん。と。思。量。て。ま。ぐ。禁。う。け。も。彼。も。ね。む。ま。め。人。の
難。の推。辞。と。且。怯。う。る。と。の。り。ま。と。ん。と。外。を。厭。ふ。と。め。く。竟。小。用。ひ。と。
怒。る。と。け。り。と。ゆ。ち。小。前。も。果。相。撲。打。出。ま。か。浦。邊。の。ふ。笛。大。鼓。の。音。や。え
け。文。五。兵。衛。と。う。く。あ。る。夫。止。を。孟。の。話。説。小。実。が。入。り。と。西。所。の。疲。勞。も。顧。之。日。
暮。も。忘。れ。り。彼。俚。樂。ハ。牛。頭。天。王。の。神。輿。洗。の。供。奉。船。こ。の。浦。里。も。祇。園。會。も。例。

八幡の社頭
角瓶を試る

大先達念五



山村八郎

大田小文吾



年六日^{れんみふ}日^{のち}あれ^いも十四日^{しじふにち}も^も雨^{あめ}あつた^りか^か渡^{わた}りか^かと^と延^{のび}う^う。か^か家^{いえ}め^めの^のま^まくも^もあ^あの^の間^ま個^こを^をあ^あの^の奴^{やつ}婢^{めかけ}あ^あの^のま^まくも^もこの^{この}祇^き園^{えん}會^{かい}の^のま^まくも^も三日^{さんじつ}の間^の身^みの^の暇^{ひま}を取^とる^るが^がた^たく^く土地^{ちど}の^の習^{しゆ}俗^{ふく}あ^あの^のま^まくも^も在^ある^るぞ^ぞ小^こ文^{ぶん}吾^{われ}の^の神^{かみ}典^{てん}の^の隷^{れい}を^をあ^あの^のま^まくも^も彼^かの^の接^{せつ}尻^{しつ}を^をあ^あの^のま^まくも^も俟^{まち}不^ふ樂^{らく}と^との^の唧^唧めり^{めり}と^とか^かう^うか^かう^う黄^{わう}昏^{こん}て^て近^きれ^れと^とる^るも^も路^ろの^の程^{ほど}遠^{とほ}く^く便^{べん}に^にあ^あの^のま^まくも^も誘^{さう}め^めと^との^のひ^ひう^うく^くを^をあ^あの^のま^まくも^も起^{おこ}し^し先^{まづ}小^こ進^{しん}と^と陸^{りく}小^こ登^{とう}と^とる^る程^{ほど}小^こ水^{すい}際^{さい}乃^{すなは}ち^ち蘆^ろを^を搔^かき^き半^{はん}身^{しん}を^を頭^{あたま}を^を者^{もの}あ^あり^り忽^{たちまち}地^ちの^の声^{こゑ}を^を被^{おほ}え^えと^と女^{をんな}の^の聲^{こゑ}を^を被^{おほ}え^えと^と膽^{いだ}の^の太^{おほ}れ^れと^と十^{じゅう}葉^{はつ}家^けの^の米^{こめ}地^ぢを^をあ^あの^のま^まくも^も辭^{こと}我^{われ}の^の御^ご所^{しよ}と^と疎^そく^くあ^あの^のま^まくも^も訴^うげ^げられ^れあ^あの^のま^まくも^も祟^{たたか}め^める^る身^みの^の危^{あや}し^しを^を知^しる^るに^にや^やと^と呼^よび^び禁^{きん}を^をあ^あの^のま^まくも^も文^{ぶん}五^ご兵^{へい}衛^ゑの^の胸^{むね}を^を潰^{つぶ}し^しと^と進^{しん}め^める^る信^{しん}乃^{すなは}ち^ち見^みえ^える^ると^と是^{こゝ}の^の長^{なが}物^{もの}詰^{つめ}め^め時^{とき}を^を程^{ほど}と^と他^{ほか}の^の人^{ひと}を^を知^しれ^れぬ^ぬと^と悔^{かな}し^しむ^むと^と思^{おも}ひ^ひる^る畢^{はつ}竟^{けい}今^{いま}蘆^ろ原^{げん}より^{より}猛^{もう}小^こ呼^よび^びる^る誰^{たれ}を^を其^{その}の^の次^{つぎ}の^の卷^{まき}に^に解^とけ^け分^{ぶん}る^るを^を看^みる^る知^しる^るん^ん。

里見八犬傳第四輯卷之一終

